

スマホで見られる 被災者支援の 情報まとめ

令和8年熊本地震 | 弁護士が作った無料のまとめサイト

必要な支援に、早くたどり着くための無料のまとめです。り災証明・住まい・お金・相談先などを、市町村ごとに調べられます。熊本県の45市町村すべてを載せています。



スマホのカメラで QR を読み取ると開きます

nakayama-oss.github.io/hisai-links/kumamoto2026.html

登録・アプリは不要／通信料以外は無料

3つの探し方

① かんたん検索（選ぶだけ）

お住まいの市町村と困りごとを選ぶだけ。り災証明の窓口や災害ごみの出し方など、その市町村の情報が出ます。

② さがす（検索）

言葉を入れて検索。ひらがなでもOK（例「うきしりさい」「ひかわごみ」）。

③ 困りごとから

下のようなボタンを押すだけ。ページの中の該当箇所へ飛びます。

支援制度の全体像（ひさぼ）

り災証明がほしい

大事な物を紛失した

現地の現況（交通・水道等）

法律問題Q&A

相談したい

外国人の方へ（多言語）

り災証明書を受け取ったら

- 1 認定された被害の程度を確認（全壊・大規模半壊・中規模半壊・半壊・準半壊・一部損壊など）
- 2 使える支援制度を調べる（リンク集の「支援制度早見表アプリ」から）
- 3 二次調査・再調査を申請するか検討（とくに一部損壊・準半壊と判定された方）
- 4 分からないことは気軽にご相談ください（熊本県弁護士会の相談会など）

大事なお知らせ

・写真がなくても、り災証明書の申請はできます。

写真は後のトラブルを防ぐために役立ちますが、無い方も申請できます。危険な場所の写真は、無理に撮らないでください。

相談したいとき

リンク集の「相談したい」に、弁護士による無料相談・市町村の相談会・外国語での相談などをまとめています。受付の日は変わることがあるので、出かける前・電話をかける前に、必ずリンク集でご確認ください。

※これは弁護士が作成した資料で、行政の公式サイトではありません。制度の内容・受付状況は、必ず公式ページや窓口でご確認ください。

作成：弁護士 中山泰誠（兵庫県弁護士会） / 2026年8月23日時点（第2版）